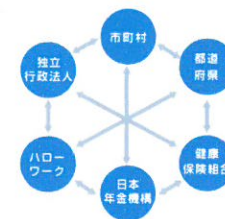


# マイナンバーによる情報連携で、よりよい暮らしへ。

マイナンバーは、安心・安全な仕組みで各機関が分散管理する個人情報をつなぐ役目を果たします。これによって国や地方公共団体等での情報連携が可能になり、さまざまなメリットをもたらします。



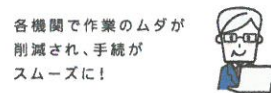
## 国民の利便性の向上

年金や福祉などの申請で、書類の添付が減ります。



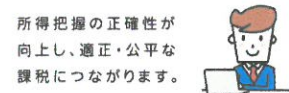
## 行政の効率化

行政手続が、正確で早くなります。

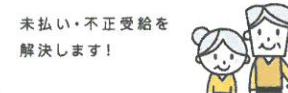


## 公平・公正な社会の実現

適正・公平な課税を実現します。



年金などの社会保障を、確実に給付します。



## この2つで、さらに便利に!

### 個人番号カード

市町村に申請すると交付が受けられる、顔写真付きICカードです。



- 身分証明書になるほか、健康保険証などの機能が追加が検討されています。
- ICチップを活用した様々なサービスも展開される予定。

こんなメリットも。

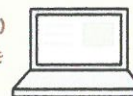
各種証明書をコンビニで発行!



※全国の市町村において順次拡大中。

### マイ・ポータル(仮称)

自宅のパソコンから様々な情報を取得できる個人用サイトです。



平成29年1月開設予定

※スマホやタブレットからのアクセスも可能になる予定。

取得可能な情報(予定)

- 年金など、各種社会保険料の支払い状況
- 行政機関が自分の個人情報へアクセスした履歴
- 制度改定などのお知らせ
- 受けとることのできる各種給付のご案内

将来的には、こんなメリットも予定されています。

- 予防接種の履歴、確定申告に必要な情報などをネットで取得!
- 引っ越しなどの複数の届出が、パソコンでまとめてできる!



### 制度実施の流れ

平成27年10月～

マイナンバーの通知を住民票の住所へ送付開始

平成28年1月～

- 社会保障・税・災害対策の手続で、マイナンバーの利用が開始
- 申請者に、個人番号カードを交付

平成29年1月～

国の行政機関の間で、情報連携を開始

平成29年7月～

地方公共団体等も含めた、情報連携を開始

マイナンバーは一生使うもの。大切にね!



## 情報セキュリティを高める 安心・安全な仕組みづくり

### 個人情報は分散管理

一元管理しないことで、字づる式の情報漏えいを防ぎます。

### 成りすまし防止

行政手続などで、マイナンバーのみの本人確認は行いません。

### システムへの接続制限

各機関で情報連携を行う際は、接続できる人を制限。通信の暗号化も行います。

### マイナンバー保護評価

各機関がマイナンバーのシステム開発や改修を行う前に、実施します。

### アクセス記録の確認

自宅のパソコンで、自分の個人情報にアクセスした行政機関を確認できます。

### 第三者機関の新設

制度の運用を厳しく監視する、特定個人情報保護委員会を設置しました。

### 罰則の強化

マイナンバーの漏えいや目的外の収集には刑事罰が科せられる場合があります。

事業者の皆様にも、大切なお知らせがあります。詳しくは外面へ